

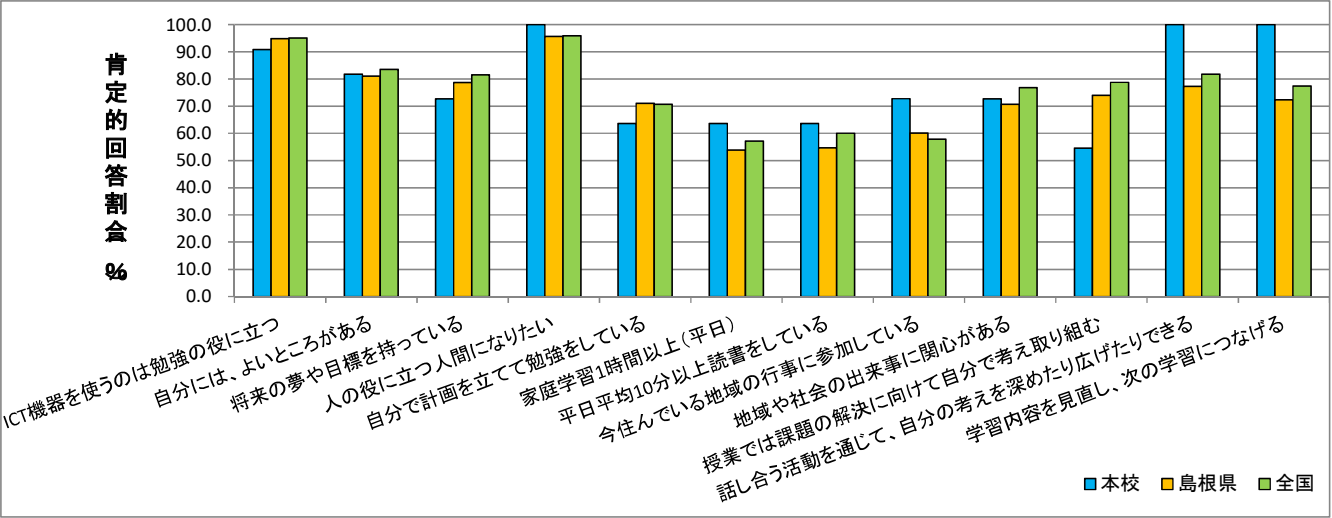
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
国語	○図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように工夫して書くこと。 ○目的を意識して中心となる語や文を見つけて要約すること。 ●情報と情報との関係や、文章と図表などを結びつけて必要な情報を見つけること。	・情報カードを使って調べ、まとめる学習の際にはどのカードを使ってまとめるとよいか、情報を取捨選択する力を養う。 ・新聞活用ノートや条件作文に取り組み、伝えたいことをよりわかりやすく伝える力を養う。 ・複数の資料を読み、必要な情報を関係づけながらまとめたり、プレゼンテーションをする力を養う。
算数	○示されたデータから必要な情報や条件に合う数を読み取ること。 ○加法と乗法の混合した式を正しく計算すること。 ●百分率で表された割合を理解すること。 ●(2位数)÷(1位数)の筆算について、各段階の商の意味を理解すること。	・日常生活の中でも表されている割合に着目し、比べる量、もとにする量の概念がもてるような活動を取り入れる。 ・計算ができることだけでなく、立式や計算の考え方を説明する活動を取り入れる。

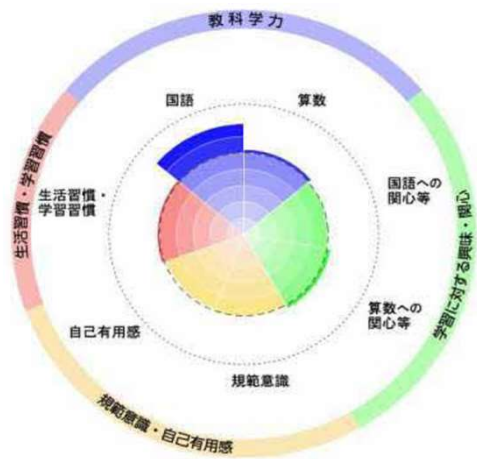
(2)児童質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
質問紙	○学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。 ○学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。 ●新聞を読んでいる割合が低い。 ●課題解決に向けて自分で考え取り組む割合が低い。	・児童昇降口に新聞閲覧台を設置したり、数種類の小学生新聞を購読したりして、新聞に触れる機会を増やす。 ・友達と話し合うことで考えを深めたり広げたりすることができると感じている児童が多いことから、課題解決に向けても話し合いを取り入れ考えを深めていくようにする。

(3)児童質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・タブレットを効果的に活用し、個にあった学習課題や学習方法を見つける。また、ICT機器を適宜取り入れ、授業改善を図る。

【受検者数】
11 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。